

大系タイムス

発行所
 ©大系タイムス社
 長野県大町市俵町1851
 〒398-0002
 TEL0261(22)2110
 FAX0261(22)2111

ホームページ
<http://www.ohitotimes.co.jp/>
 Eメール(記事)
hodo1@ohitotimes.co.jp
 Eメール(広告)
koukoku@ohitotimes.co.jp

購読料1カ月2,000円(税込)
 1部 100円

本紙購読申込所
 羽田(大町西側) ☎0261-22-1450
 羽田(大町東側) ☎0261-22-0553
 羽田(常盤) ☎0261-22-1450
 大町読売 ☎0261-22-4784
 松川 中日 ☎0261-62-6010
 矢崎(池田) ☎0261-62-2533
 池田読売 ☎0261-62-2252
 山本(白馬) ☎0261-72-2024
 荻沢(小谷) ☎0261-82-2201
 藤沢(八坂) ☎0263-87-2354
 穂高信毎 ☎0263-83-7878
 滝沢(豊科) ☎0263-73-3000
 信毎販売豊科 ☎0263-72-6507
 信毎一日市場 ☎0263-77-8787
 鳥羽(明科) ☎0263-62-2312

みよし名物かつ丼 15日復活

大町市「おうちごはんホッと」が継承



平成13年に惜しまれながら閉店した大町市下仲町の食堂「みよし」名物のかつ丼が復活する。多くの市民、地域住民に親しまれていた味を、同町の食堂兼配食サービス事業所「おうちごはんホッと」が受け継ぐ。「みよし」店主の合本章さん………

店を始めた父の故・合木正さんと営業当時の「みよし」の店先

(社)がレシピや調理法を伝授し、15日から提供を始める。

「昔の味を復活させてくれることに感謝無量。みんなが食べた『うまい』の言葉が聞ければうれしい」と笑みをこぼす合木さん。

「みよしのかつ丼は慣れ親しんだ味。大町の懐かしい味を復活させてまちのにぎわいつなげたい」と、同町内のおうちごはんホッ

とを運営するNPO法人キッズウィルの福島百子理事長が味を受け継ぐことを決めた。多くの観光客が訪れる大町、地元以外の人にも「地域住民に愛された大町の味」を伝えようと味の再現に試作を重ねている。

「みよし」は、大町生まれ大町育ちの章さんの父親・正さん(故人)が戦前に働いていた東京で食べたさまざまな名店の味を、記憶と舌を頼りに再現したメニューをそろえ昭和26年にオープン。章さんも20歳ごろから店を手伝うようになり、目や舌の感覚で、門外不出のレシピを受け継いできた。みよしのとんかつは、店舗ではかつ丼持ち帰りや出前はかつ丼当として親しまれていたが、高齢となったことや後継ぎのめどが立たなかったことなどから平成13年5月に閉店した。

豚肉のヒレを使い、オリジナルの甘口自家製ソースを絡めたみよしのかつ丼は「冷めても肉が柔らかく、おいしく食べられる」と章さん。自身の店の味の復活を喜ぶと同時に「大町は隠れた名店が多いけれど、昔の味がどんどんなくなっている。こういう復活を機に他の味も復活して欲しい」と願っている。

2020年(令和2年)2月14日(金曜日)